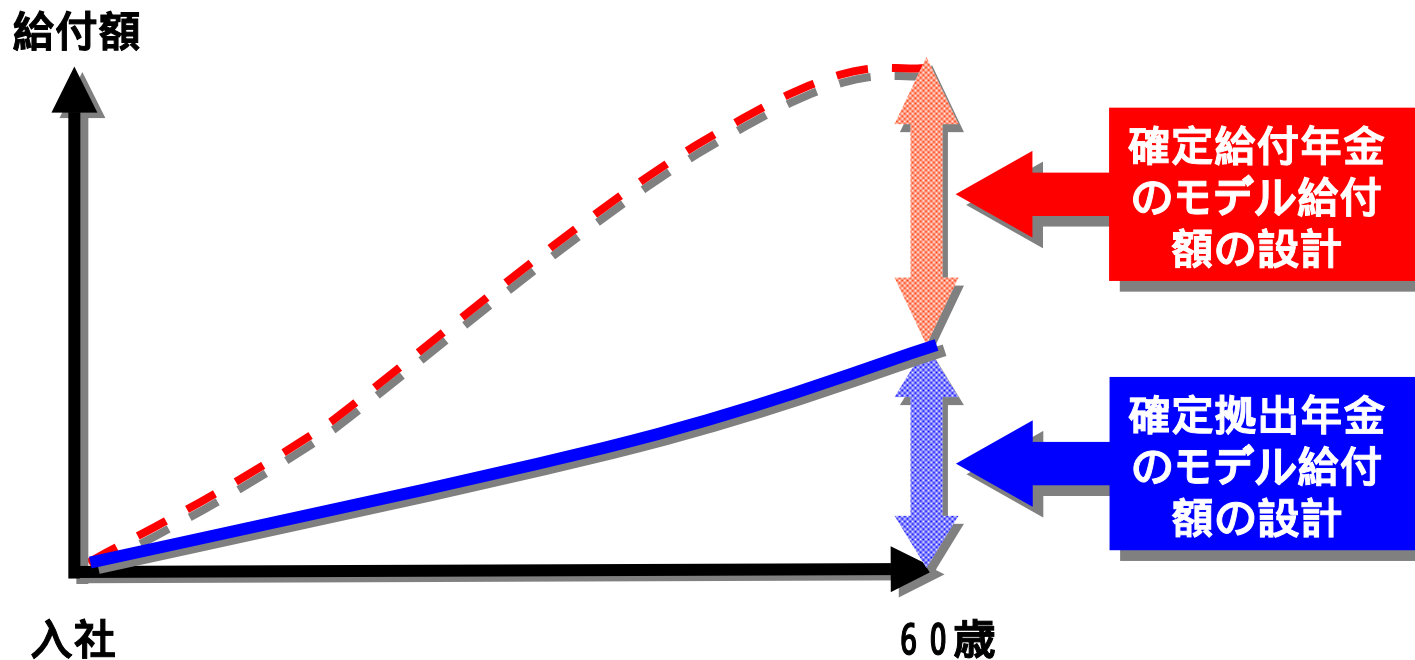


確定給付年金と確定拠出年金の併用



全体としての給付カーブを維持しつつ、確定拠出年金を一部活用する。(労使合意のために、現行の給付カーブの形状をある程度尊重する。)

確定拠出部分での運用が、想定利回りを上回れば、想定モデルより給付水準が高くなり、逆に想定利回りを下回れば、給付水準は想定モデルを下回る。

確定拠出年金部分の想定利回りをどの水準に置くかが重要なポイントとなる。(現行の確定給付の予定利率とは考え方が異なることを説明する必要がある。 想定利回りが小さいほど事業主の拠出金が増え従業員の福利厚生はアップ。)

制度への加入に関する最終決定はお客様ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。本資料は、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記された意見や予測等は、資料作成時点での岡三証券の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。